

2024年5月16日掲載 山形新聞

天井を高く取り、多層式ラックを設置して
収納力を高めた第一貨物の東根臨空物流セ
ンター
＝東根市



東根物流センター完成

第一貨物 原材料の保管、供給請け負う

第一貨物（山形市、米田
総一郎社長）が東根市に建
設していた「東根臨空物流
センター」が完成し、15日、
現地で竣工式が行われた。
同センターは、近くのスリ
ーエムジャパンプロダクツ
山形事業所（後藤聡所長）
で使用する原材料の保管、
供給業務を請け負うために
新設した。原料の即納体制
を両社が連携して整えるこ
とで、同事業所の生産性向
上につなげたい考え。
建設地は山形空港の西側
で、同事業所からは約90
0㍍。同事業所で使用する

原材料はこれまで、県内外
10カ所以上の倉庫から配送
していた。倉庫機能の大部
分を新しいセンターに集約
することで、顧客ニーズに
応じてタイムリーに製造で
きる体制を整える。
鉄骨造りのセンター建物
の大部分は平屋の倉庫部分
で、延べ床面積は約1万平
方㍍。倉庫は天井を約10㍍
と高く取り、多層式ラック
を設置して大量のパレット
を収容できる。断熱性能を
高めるなど省エネにも配慮
している。7月の稼働開始
を予定する。

式には両社関係者らが出
席し、荷物の出し入れ部分
や収納の機能などを確認し
た。米田社長は「製造拠点
の至近の場所からタイムリ
ーに原材料を供給すること
で、業務の改善に少しでも
役に立てるようにしたい」
とあいさつ。後藤所長は
「『もっと早く欲しい』と
いう客の要望に応えるた
め、センターの新設は大き
な転機になる。サプライチ
ェーンのさらなる改善のた
め、第一貨物と一緒に取り
組みたい」と述べた。
(阿久津誠)